



平成 27 年 8 月 19 日

環境政策課

(内 2347)

平成26年度ダイオキシン類環境調査結果について

平成26年度ダイオキシン類環境基準監視調査の結果、大気、水質、底質及び土壌について、全ての調査地点において環境基準を達成していました。

1 平成26年度及び過去の調査結果の範囲

(単位 大気：pg-TEQ/m³ 土壌・底質：pg-TEQ/g 水質：pg-TEQ/l)

調査対象		平成 26 年度調査結果	(参考) 平成 12 ～25 年度	環境基準
大 気		0.0035 ～ 0.020	0.0046 ～ 0.14	0.6 以下
水 質	河 川	0.044 ～ 0.095	0.027 ～ 0.69	1 以下
	海 域	0.052 ～ 0.058	0.018 ～ 0.49	
底 質	河 川	0.11 ～ 0.21	0.075 ～ 12	150 以下
	海 域	2.0 ～ 13	0.075 ～ 22	
土 壌		0.0087 ～ 0.33	0.0079 ～ 8.9	1,000 以下

2 環境基準監視調査結果

(1)大 気 (単位：pg-TEQ/m³)

採取場所	調 査 結 果			環境基準
	夏 期	冬 期	平 均	
四国中央市	0.0065	0.015	0.011	0.6以下
新居浜市	0.0099	0.012	0.011	
西条市	0.017	0.020	0.019	
今治市	0.0086	0.013	0.011	
八幡浜市	0.0035	0.0094	0.0065	
宇和島市	0.0099	0.019	0.014	

(2)水 質 (単位：pg-TEQ/l)

種 類	採取場所	調査結果	環境基準値
河 川	豊岡川 (四国中央市)	0.049	1以下
	尻無川 (新居浜市)	0.095	
	小振橋 (西予市)	0.044	
海 域	伊予三島・川之江海域ST-5	0.052	
	八幡浜・保内海域ST-2	0.054	
	内海・城辺海域ST-1	0.058	

(3)底 質 (単位：pg-TEQ/g)

種 類	採取場所	調査結果	環境基準値
河 川	豊岡川 (四国中央市)	0.11	150以下
	尻無川 (新居浜市)	0.21	
	小振橋 (西予市)	0.11	
海 域	伊予三島・川之江海域ST-5	13	
	八幡浜・保内海域ST-2	3.9	
	内海・城辺海域ST-1	2.0	

(4)土 壤 (単位：pg-TEQ/g)

採取場所	調査結果	環境基準値
四国中央市川之江町	0.070	1,000以下
新居浜市東雲町	0.023	
大洲市若宮	0.0087	
西予市野村町	0.093	
八幡浜市八代	0.010	
宇和島市保田	0.33	

(備考) 各検体の採取年月日

大 気	夏 期：平成26年8月1日 ~ 平成26年8月26日 冬 期：平成27年1月9日 ~ 平成27年1月30日
水質及び底質	平成26年8月19日 ~ 平成26年10月1日
土 壤	平成26年8月5日 ~ 平成26年10月1日

(参考)

1 調査対象及び調査地点数

調査対象	環境基準監視調査	
	調査地点数	検体数
大 気	6	12
水 質	河 川	3
	海 域	3
底 質	河 川	3
	海 域	3
土 壤	6	6
合 計	24	30

備考 大気については年2回（夏・冬）、その他については年1回実施

2 ダイオキシン類濃度の単位について

○p g（ピコグラム）：1兆分の1グラムを表す単位

○TEQ（毒性等量）：ダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの量に換算した値であることを示す

3 ダイオキシン類に係る環境基準について

媒 体	基準値
大 気	0.6 pg-TEQ/m ³ 以下
水 質（水底の底質を除く。）	1 pg-TEQ/l以下
水底の底質	150 pg-TEQ/g以下
土 壤	1000 pg-TEQ/g以下

○大気及び水質（水底の底質を除く。）の基準値は、年間平均値とする。

○土壌にあつては、環境基準が達成されている場合であつて、土壌中のダイオキシン類の量が250pg-TEQ/g以上の場合には、必要な調査を実施することとする。

4 毒性等量算定の際、定量下限値未満の数値の取扱いについて

○大気、水質及び底質

定量下限値未満、検出下限値以上の数値は、そのままの値を用い、検出下限値未満の数値は、検出下限値の1/2を用いて、各異性体の毒性等量を算出する。

○土 壤

定量下限値未満の数値は、ゼロとする。